

# 勤労婦人の貧血に関する調査成績

研究協力者 田中 茂 (埼玉県労働保健センター)  
 前田 和子 ( " )  
 荒尾 静代 (東大医学部公衆衛生)

## はじめに

有機溶剤・鉛等を取扱う有害業務作業の健康管理として、貧血検査の実施が義務づけられているものも多い。昭和35年～同36年に行なわれた日本産業衛生協会・労働者血液生理値研究委員会の報告資料をもとに、スクリーニングレベルが定められているが、最近の勤労者の血液水準の動向を把握する必要があるといわれている。

昭和53年12月～同55年7月に、血液値に影響を及ぼすと思われる諸要因の調査とあわせて検討したので報告する。なお今回は主として血色素量についての解析を行なった。

## 調査対象

1) 調査対象：埼玉県下7事業所に勤務する婦人労働者486名

2) 血液検査：

血色素量(シアノメトヘモグロビン法)血球容積、赤血球数、白血球数、全血比重

検査実施には、標準血球により精度管理を行ない、測定値の信頼性を高めるように努めた。詳細は資料1を参照。

3) 健康調査表による諸要因の調査

採血時、年齢、結婚歴、住居、通勤時間、作業形態、食事状況、月経・出産歴等の22項目の調査表を配布した(自記式)。詳細は資料1を参照。

## 調査成績

1) 年齢構成

年齢才代	～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	～54	55～	計
人数	34	80	89	51	47	77	63	36	9	486
%	7.0	16.5	18.3	10.5	9.7	15.8	13.0	7.4	1.9	100

2) 血色素量の分布

g/dl	～6.9	～7.9	～8.9	～9.9	～10.9	～11.9	～12.9	～13.9	～14.9	～15.9	～16.9
数	4	1	3	2	12	35	127	173	102	24	3
%	0.8	0.2	0.6	0.4	2.4	7.2	26.1	35.5	20.9	4.9	0.6

血色素量の平均値は13.2g/dl 標準偏差は1.34であり、12g/dl未満(WHO判定基準値)のもの頻度は57名(11.7%)であった。

3) 健康調査表の質問項目と血色素量

血色素量の平均値の差の検定で有意差のみられたものは以下の項目についてである。

(1) 年齢

10才代、20才代に比較し、30才代以上の方が低い値であった。

(2) 婚姻別

既婚者の方が未婚者より低い値であった。

(3) 有害作業別

有害作業に従事していないものの方が、従事しているものより低い値であった。

(4) 特殊健診結果

有害作業に従事しているもののうち、有所見と判定されたものに低い値であった。

(5) 出産歴

出産経験のないものに低い値であり、特に妊娠中、および1年以内に出産をしたものはこの傾向が著しかった。

## まとめ

昭和53年～同55年に行った勤労婦人486名について、血色素量の検討を試みた。平均値は13.2g/dl、標準偏差は1.34であった。貧血をひき起こす原因には種々報告されているが、今回の諸要因の調査から、既婚者、出産経験者(特に妊娠中、出産後1年以内)については血色素量は低い。また、有害作業については、従事者に低い

値とは云えず、むしろ従事していないものに低かった。

内容との関連よりも、個人時要因の影響が大きいと思われる。

以上のことから、勤労婦人の貧血をみる時作業

年齢別  $p < 0.01$

	～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50以上
平均	13.61	13.60	13.31	12.99	12.93	12.96	12.85	13.08
偏差	1.11	1.32	1.19	1.35	1.32	1.39	1.58	1.11
数	34	80	89	51	47	77	63	45

結婚別  $p < 0.01$

	既婚	未婚
平均	12.94	13.57
偏差	1.33	1.26
数	307	178

通勤時間別

	～30分	31～59分	1時間以上
平均	13.11	13.34	13.09
偏差	1.37	1.34	0.91
数	320	134	32

残業時間別

	ほとんどなし	9時間	10～19時間	20時間以上
平均	13.20	13.05	13.17	13.36
偏差	1.40	1.17	1.30	1.16
数	335	87	51	9

有害作業別  $p < 0.05$

	無	有
平均	12.97	13.27
偏差	1.29	1.35
数	154	329

食事別

	規則	不規則
平均	13.14	13.43
偏差	1.34	1.29
数	433	50

食事回数別

	2回	3回
平均	13.65	13.12
偏差	1.34	1.33
数	55	420

偏食別

	無	有
平均	13.15	13.72
偏差	1.35	0.80
数	466	20

病 気

胃・十二指腸潰瘍別

	無	有
平均	13.16	13.89
偏差	1.34	0.96
数	477	9

痔 別

	無	有
平均	13.17	13.53
偏差	1.34	0.35
数	480	6

貧血別 p < 0.01

	無	有
平均	13.22	12.05
偏差	1.28	1.95
数	464	22

胃炎・胃腸病別

	無	有
平均	13.18	13.03
偏差	1.35	1.20
数	455	31

結核・肺別

	無	有
平均	13.17	12.67
偏差	1.34	0.67
数	483	3

高血圧・心臓別

	無	有
平均	13.16	13.38
偏差	1.33	1.36
数	452	34

腎臓別

	無	有
平均	13.17	13.58
偏差	1.34	1.13
数	481	5

肝・胆のう別

	無	有
平均	13.17	11.80
偏差	1.34	0
数	485	1

定期健診結果別

	異常なし	異常あり
平均	13.20	12.82
偏差	1.28	1.96
数	435	35

特殊健診結果別 P < 0.01

	不受診	無	有
平均	12.99	13.28	12.19
偏差	1.45	1.23	1.98
数	130	324	15

出産別 p < 0.01

	無	妊娠中	1年以内出産	以前出産
平均	13.46	12.15	12.84	12.94
偏差	1.27	0.21	1.62	1.29
数	236	2	9	234

月経別

	1W前	生理中	後1W	中間期	閉経
平均	12.90	13.07	13.38	13.27	12.26
偏差	1.64	1.19	1.33	1.27	0.98
数	110	71	88	150	57

生理の規則性別

	順	不順
平均	13.20	13.04
偏差	1.29	1.61
数	305	116

経血量

	多	普	少
平均	12.94	13.21	13.12
偏差	1.61	1.42	1.00
数	46	312	62

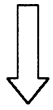
肥満度

	太	並	瘦
平均	13.32	13.12	13.13
偏差	1.11	1.43	1.09
数	128	327	31



## 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



はじめに

有機溶剤・鉛等を取扱う有害業務作業の健康管理として、貧血検査の実施が義務づけられているものも多い。昭和 35 年～同 36 年に行なわれた日本産業衛生協会・労働者血液生理値研究委員会の報告資料をもとに、スクリーニングレベルが定められているが、最近の勤労者の血液水準の動向を把握する必要があるといわれている。

昭和 53 年 12 月～同 55 年 7 月に、血液値に影響を及ぼすと思われる諸要因の調査とあわせて検討したので報告する。なお今回は主として血色素量についての解析を行なった。